



谷口キヨコ
TANIGUCHI KIYOKO

兵庫県宝塚市出身、現在、京都在住。3月29日生まれ。「キヨビー」の愛称で親しまれ、キュートな声とハイテンショントークを武器に、関西を中心として幅広い活動を展開中。'08年春より母校でもある京都産業大学大学院に入学、6本のレギュラー番組を抱えながらも国際法について研究に励む。また、「トキョー☆ブックマーク」の公式ブログも公開中（本誌にも登場中）。

一日でも、一分一秒でも長くDJでいらられるための努力を

仕事ⅡDJの幸せな方程式

DJになるきっかけは、大学を卒業後、就職した会社を3カ月で辞めてしまったから、とにかく先立つものが必要で(笑)。知人から披露宴の司会っていいみたいよ」と聞いて。2時間くらいだし、歳を取っても続けられるし、ギャラ以外にも「祝儀が貰えるらしいし、おまけに慶事だからみんなに喜んでもらえるし。そこでそういうのを仕切っている事務所があると教えてもらって、今の事務所に入ることに。とはいえず、いざやってみたら披露宴の司会が上手くなくて(笑)。どうしても時間が延びるんですよ。そこで、本社のある名古屋でいくつかオーディションを受けるように言われて、運が良かったことに3つ4つのお仕事をいただく

いたんです。やってみたらすごく楽しくて、「面白いことでお金が貰えるなんて幸せだ」と思ったなら、もっとたくさんやりたくて、そしたらそのためにももっと頑張らないと、と気づけばそのサイクルだけで今まで来ました。

自己表現が仕事になる素晴らしい

DJはパーソナリティとも言われるように、一人でやることが多い。例えば、5分間一人で好きなように喋るとか、それってTVではありえないこと。そんなふうには自由に、自己表現が許されるのは貴重です。絵を描いたり、曲をつくったり、人はそれぞれ様々な方法で自己表現を表現していると思うけど、「喋る」って一番やりやすい。しゃべって自己表現ができて

さらにはそれが仕事になる。これって最高。朝早いとか仕事量が多いとしんどいけど、それはあくまでも体力的な面であって、このお仕事をされていて精神的に辛いことや嫌なことはないですね。

今は大学院に通っているんで、春から夏にかけては本当にしんどかったけど、院生生活はすごく新鮮。普段から「出してばかりなので、「入れる」ことが必要だと思いついての進学でした。もちろん、日頃の生活からも「入れる」ように意識してるけれど、ちゃんと勉強して「入れたい」と思ったんですね。学生になって、本を読むようになりましたよ。「人間は勉強しすぎでは死なない。やりすぎたら眠くなるから」と教授に言われて、「ほんまやなあって(笑)。最初はしんどくても、知りたいこと、やりたいこと、欲しがることがあるなら、いくつになってもやれるもんだなと。

一日でも長くDJでいらられるために

このお仕事は「やって」と言われなくてできない仕事なので、一日でも長く続けていける自分であれたら、と常に思っています。厳しいけれど、この世界は「求められるか、られないか」が全て。自分のスタイルでやりたいようにやって、そこで求められたら続けていける。DJに「How to」はないですから。

具体的には、全く別の人格で番組をつくってみたいかな。この声だから難しいでしょうけど(笑)。面白いことは一切言わず、男装の麗人のような格好いい感じで。昔のFMみたいな。全部、外国語でしゃべってみるとか? それたら口数は減るよね(笑)。スポンサーさえついたら出来る! 一夜限りのイベントでもいいからチャレンジしてみたいなあ。

TANIGUCHI KIYOKO



DJ's Favorite Item

大韓航空の機内販売で出会ってからすっかりお気に入りとなったストラップ型のグロス&ミラー。「お土産にも大量に買ってくるの」とご機嫌な様子で、撮影前の化粧直しもお手のもの。ドコモダケのマイ箸は、「だいふく失くしてますけど(笑)、2年くらい前から持つようになって、これで四代目」。エコについて発信している身としては、「まずは自分が実践しなきゃ」がきっかけ



CHUMMY TRAIN 毎週金曜16:00~20:00

ちゃ・ちゃ・ちゃみとれ〜♪ですっかりお馴染みの、スーパーエンターテインメントプログラム。映画、ファッション、コスメ、スポーツ、リラックス、ライフスタイルに至るまでバラエティに富んだコーナー盛り沢山で紹介。

J-AC TOP40 毎週土曜14:00~19:00

J-POPヒットチューンをカウントダウン形式でオンエア。オリジナルランキングは、α-STATIONでのオンエア・ポイント、京都主要レコード店のセールス・ポイント、そしてリスナーリクエストを集計して作成される。